

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホームももたろうの郷ひなた苑
日付	平成16年12月14日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	老人保健施設等での痴呆性高齢者介護歴 5年 病院での相談援助業務歴 30年、家族介護歴 13年
自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）	
評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）	
事業者のコメントを見る （評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）	

外部評価の結果

調評
全体を通して（特に良いと思われる点など）
<p>ホームは、歴史上の史跡や公園がすぐ近くにあり、山や川の自然に恵まれ、毎夕の散歩コースになっています。また、小学校、公民館、市役所支所、交番などの社会施設も、すぐ近くにあり落ち着いた環境の中に建っています。地域との交流を大切にするというホームの方針の中で、入居者は地域から温かく受け入れられ、見守られています。</p> <p>建物は、大きな中庭を中心に木目調を生かした近代的な建物で、圧迫感がなく、開放的に建築設計されており、入居者は自由に出入りできるようになっています。外出を止めるのではなく、さりげなく付き添うケアが徹底できています。また、入居者の希望を聞きながら、10日に1回位の外出を実施して、ドライブや、戸外でおやつを食べたりすることを常に企画しています。ホーム内は、白を基調として、明るく開放的であり、各ユニット毎に、トイレが3ヶ所あり、食卓や、くつろぎスペースも広く配置されています。フルード、ギター、ピアノ、大正琴など音楽に力を入れた活動があります。</p> <p>食べることを大切に考えられ、食事にゆっくり時間をかけて、適切な会話を楽しみながら、食事を済ませることに重点が置かれています。また、入居者同志の、いたわり合う気持ちも芽生え、穏やかになった、笑顔が良くなった、顔色も良くなったと、家族より喜ばれることが、何よりの励みであると話されています。家族を含めて、3ヶ月毎にサービス担当者会議が行われています。</p>
特に改善の余地があると思われる点
<p>入居者に寄り添うケアがさりげなく、良くされていますが、下記の点について配慮されてはいかがでしょうか。</p> <p>理念などは事務所だけでなく、さりげなく額等に入れて、玄関やリビングに掲示されても良いのではないのでしょうか。</p> <p>ヒヤリハットを活用されていますが、その後の対策について検討された記録もあれば、さらに良くなるのではないのでしょうか。</p> <p>くすりの管理は良くされていますが、保管場所は、もう少し奥まった定位置にある方が良いのではないのでしょうか。</p> <p>歯ブラシの保管方法について、使用していない時は簡単なカバーをつけるなど、工夫されてみてはいかがでしょうか。</p> <p>トイレ介助用のエプロンと台所エプロンは、分けた方が良いのではないのでしょうか。</p> <p>素適な中庭に、もう少し花や緑があれば、さらに良くなるのではないのでしょうか。</p> <p>生活全般にわたり、理念や目的の具体化について、職員全体の共通認識が今後の課題ではないのでしょうか。</p>

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	<p>利用者が家庭的な雰囲気のある環境の中で、持てる能力を生かし、それぞれの役割を持って、安心した日常生活を送りながら、生活の質を高めていくことを目的として、利用者の過ごしてきた暮らしを大切に、痴呆になってもその人らしい生活が継続できるよう支援しています。</p>		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	<p>職員が落ち着いた気持で、ゆったりとして、入居者の動きをよく見守り、また、入居者の気持ちに寄り添っています。同じことを何度も話されても、耳を傾け、よく話を聞くことを心がけています。外出や、その他のことで、危なそうな時も、すぐ制止するのではなく、見守り、寄り添っています。</p>		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	<p>入居者のそれぞれの経験の中から得られた「持てる力」を発揮できる場面を作るように取り組んでいます（例えば、裁縫・畑仕事・音楽・カラオケ・話しをする等々）。しかし、食器洗い・調理・掃除・洗濯・整理など、日常生活の中で、入居者の「できること」、「できないこと」を把握し、入居者がお互いに遠慮せず活躍できる場面の設定を行うと、さらに良くなるのではないのでしょうか。</p> <p>プライバシーについては、個人情報、他の家族の目に触れないように配慮しています。</p> <p>入居者が個別記録に関心を寄せて聞く時は、入居者に自身の記録を見せて、体調や希望を聞くようにしています。</p>		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	<p>常に、家族と、そして職員間同志の話し合いを通して、サービスの質の向上にむけて、努力していくように努めています。また、話合った事柄が、職員全員に徹底していくよう努めています。</p> <p>職員の希望を取り入れた研修や勉強会を考えています。</p>		